

Rotary  
第2770地区



# Governor's

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2770

# Monthly Letter

3月 水と衛生月間／米山月間②



**UNITE  
FOR  
GOOD**

よいことのために手を取りあおう

Vol.09

03

month  
2026

**UNITE  
FOR  
GOOD**

よいことの  
ために  
手を取りあおう



**ガバナーご挨拶**

2025-2026年度  
第2770地区 ガバナー  
**熊木 雄太郎** (戸田)

3月は「水と衛生月間」、そして「米山月間」です。水は命の源。蛇口をひねれば当たり前に出てくる日本の環境は、決して世界の当たり前ではありません。私たちが支える国際奉仕の一滴一滴が、やがて大きな流れになることを信じています。また、米山奨学生との出会いは、未来への投資そのものです。志ある若者を地域で支えることが、日本と世界をつなぐ確かな架け橋になります。

先月までにIMが8グループで開催されました。それぞれの地域での議論と交流が、クラブの刺激となり、次の行動へとつながることを期待しています。顔を合わせ、語り合い、笑い合う――その親睦こそが活性化の原点です。

さらに、次年度に向けた地区チームラーニングセミナーも開催され、いよいよ三枝年度の準備が本格的に始まりました。バトンは確実につながっています。私は残りの年度を全力で走り切り、次年度へ力強く引き継ぎます。

未来を見据え、今、行動を。引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

## ガバナー公式訪問

2025年11月29日

さいたま大空 RC

会長 チャン コントゥアン / 幹事 阮 潔

当クラブのガバナー公式訪問が11月29日に実施されました。例会に先立ち、会長・幹事・会長エレクトとの懇談会が和やかに行われ、クラブの特徴や現状に即したご意見とご指導を賜りました。熊木ガバナーならびに中村ガバナー補佐は非常に話しやすく、当クラブへの深いご理解と温かいご支援をいただいていると強く感じました。

例会でのガバナー卓話においては、RIおよび地区の運営方針について大変分かりやすくご説明いただき、会員一人ひとりが本年度方針への理解を一層深めることができました。また、クラブ協議会では、事前に提出した質問をもとに、熊木ガバナーより丁寧な講評と的確かつ建設的なアドバイスを頂戴いたしました。

さらに、例会後の懇親会にもご出席いただき、会員との交流をより深めることができ、大変有意義な公式訪問となりました。



## ガバナー公式訪問

2025年12月2日

幸手中央 RC

会長 八木 泰典 / 幹事 小林 達郎

熊木ガバナー、関ガバナー補佐、細田地区副幹事にお越しいただきました。

私たちのクラブは人数こそ少ないものの、和やかな雰囲気が持ち味です。熊木ガバナーを笑顔でお迎えすることが公式訪問に向けた私たちの最大の目標でした。

懇談会では熊木ガバナーから会員増強に繋がる具体的なアイデアを示していただき、例会ではメンバーの誕生日・感謝状授与を併にお祝いし、私たちからは感謝を込めてメンバーが醸造した、できたての純米大吟醸酒をプレゼント。「よいことのために手を取りあおう」がクラブに浸透しているとの熊木ガバナーの言葉はとても嬉しかったです。

みなさまには懇親会までお付き合いいただきありがとうございました。有意義で楽しい時間を一緒にできましたこと、クラブを代表して厚く御礼申し上げます。



## ガバナー公式訪問

2025年12月3日

川口むさし野 RC

会長 中田 裕子 / 幹事 渡邊 進

会員9名が参加しガバナー公式訪問が行われました。

入会式では新会員の2名がガバナーからバッジをつけてもらい、会員であることの意義や誇りを改めて感じてくれたと思います。

会員にとってはガバナーの存在を近くに感じられたでしょう。会長としては残り半年のクラブ運営に沢山の宿題を与えられ身の引き締まる思いですが、多くのヒントを与えてくださいました。皆の協力を仰ぎながらより良いクラブ運営を目指します。



## ガバナー公式訪問

2025年12月4日

川口北 RC

会長 稲川 和成 / 幹事 高柳 恵造

2025年12月4日(木)、熊木雄太郎ガバナー、高松良典ガバナー補佐、田中健裕地区副幹事をお迎えし、公式訪問ならびにクラブ協議会を開催いたしました。

公式訪問例会では、「RIテーマ・地区運営方針」について、今後のクラブ活動をより豊かにするための示唆に富むご講話をいただきました。私たちにとって、未来へ向けた指針を改めて確認する貴重な機会となりました。さらに、永年在籍者の表彰を賜り、クラブの歩みを次世代へつなぐ大きな励みとなりました。

クラブ協議会では、各委員会の活動方針や現状に対して具体的かつ建設的な助言を頂戴し、今後の活動をさらに発展させるための方向性を見出すことができました。協議を通じて、クラブの一体感と前進への意欲が一層高まったことを実感いたしました。

熊木ガバナー、高松ガバナー補佐、田中地区副幹事に心より御礼申し上げます。今回の公式訪問を糧として、川口北ロータリークラブは今後も奉仕活動のさらなる充実と会員交流の活性化に努めてまいります。



## ガバナー公式訪問

2025年12月9日

川口西 RC

会長 遠山 博行 / 幹事 荻島 正拓

12月9日に熊木ガバナー、高松ガバナー補佐、高宮副幹事をお迎えしガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会前に11時よりガバナーとの面談を行いました。当クラブの課題や問題点をざっくばらんに話し、貴重なアドバイスをいただきました。ガバナーは事前に当クラブの問題点を洗い出していただき、アドバイスしていただいた感じがいたしました。親身になってご指導いただき大変感謝を申し上げます。

12時から昼食。12時30分より公式訪問例会、13時45分よりクラブ協議会が行われました。そこでも面談時と同様に当クラブの課題を協議し、様々なアドバイスをいただきました。実りのある1日となり、クラブを代表し感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



## ガバナー公式訪問

2025年12月11日

戸田西 RC

会長 溝上 西二 / 幹事 駒崎 繁夫

熊木雄太郎ガバナーは私どもの親クラブである戸田ロータリークラブから実に45年ぶりに輩出されたガバナーですので、公式訪問当日は格別の敬意と歓迎の気持ちをもってお迎えしました。

例会前のガバナーとの懇談会では終始和やかな雰囲気でも意義ある質疑応答が行われました。当クラブの最重要課題はやはり会員増強です。今年度は溝上会長の熱意により上半期で4名の新入会員お迎えすることができましたが、熊木ガバナーからは会員増強を更に加速するためのご助言やヒントを沢山いただきました。

例会卓話ではRIテーマと地区運営について我々に分かりやすい言葉で懇切丁寧にご指導を頂き、当日行われた新会員入会式ではガバナーから直々に新会員にバッジを付けて頂きました。例会後のクラブ協議会では当クラブが取り組む例会運営、奉仕プロジェクト、会員増強の現状報告などを行い、ガバナーより建設的なご助言を賜り、大変充実した有意義な内容の公式訪問となりました。



## TOPICS

## 第6グループインターシティーミーティング開催

2026年1月10日

2026年1月10日(土)、東部地域振興ふれあい拠点施設「ふれあいキューブ」1FコンベンションホールBにおいて、第6グループIM(インターシティーミーティング)を開催いたしました。

今回のIMは、近隣クラブの活動内容からロータリーに関する情報を学ぶこと、そして「合同新年会」を通じて会員同士の親睦を深めることを目的として実施いたしました。主催クラブは春日部西ロータリークラブで、春日部ロータリークラブ、杉戸ロータリークラブ、春日部南ロータリークラブ、春日部イブニングロータリークラブの計5クラブのメンバーと関係者、さらに熊木ガバナーをはじめとする地区役員の皆様をご来賓としてお迎えし、参加者(登録数)110名による、明るく楽しい、新年にふさわしい会となりました。



## 第1部(式典・各クラブ活動状況報告)

まず、押田豊IM実行委員長より歓迎の挨拶をいただきました。「第6グループ内のクラブが一堂に会し、お互いの活動情報を交換するとともに、友情を深め、ロータリーの理念を再確認しつつ、さらに実践へとつなげていく貴重な機会となる」とのお言葉を頂戴しました。

その後、主催者挨拶、来賓および地区役員の紹介を行い、続いて熊木雄太郎ガバナーより来賓祝辞を賜りました。ガバナーとして初めて出席されたIMとのことで、「一生忘れない!」との嬉しいお言葉もいただきました。

第1部のメインは、各クラブによる活動状況発表です。5クラブの会長より、それぞれの活動内容を分かりやすくご説明いただきました。これにより、近隣クラブへの理解が深まるとともに、新たな奉仕活動のアイデア創出にもつながったものと思われま

## 第2部(合同新年会)

関口博正パストガバナーのご挨拶と乾杯により、賑やかに新年会がスタートしました。

余興は、お正月らしく春日部市が誇る「仲町江戸囃子と獅子舞」の皆様による演舞です。獅子に頭を噛んでいただくことで、参加者の商売繁盛、家内安全、そして各クラブのさらなる発展を祈願することができました。

歓談中には、青少年交換留学生および米山記念奨学生の紹介が行われ、さらに春日部南ロータリークラブ所属の三藤俊也国際奉仕部門委員長より、タイ国際奉仕事業の報告もしていただきました。



最後になりますが、ご参加いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。また、チャリティーゴルフから始まり、本日のIMを滞りなく遂行してくれた春日部西ロータリークラブの仲間にも深く感謝いたします。

第6グループ ガバナー補佐 大東悦巳(春日部西RC)

## TOPICS

## 第8グループインターシティーミーティング開催

2026年1月31日

第8グループインターシティーミーティング(IM)を、2026年1月31日、越谷コミュニティーセンターにて開催いたしました。当日は熊木ガバナー、越谷市長福田晃様をはじめ多くのご来賓と参加者を迎え、盛会のうちに終了いたしました。

本年度のテーマは「日本の未来・地域社会におけるコミュニティの重要性」とし、地域社会との連携による奉仕活動を通じてクラブの活性化を図り、ロータリーの発展と地域社会への貢献につなげることを目的として実施いたしました。



本IMは、3部構成にて実施いたしました。

第1部では公益財団法人社会貢献支援財団会長 安倍昭恵様による特別講演を一般公開し、会場がほぼ満席となる盛況となりました。

第2部では式典および寄付金贈呈を行い、株式会社アテナソリューション代表取締役 立石裕明氏より「中小企業のこれからの経営対策」について基調講演をいただきました。

第3部の大懇親会ではオペラ歌手 谷口美沙様の歌唱や各クラブ事業報告、埴氏によるアトラクションが行われ、会員相互の親睦を深める機会となりました。



開催にあたりご尽力いただきました関係各位に深く感謝申し上げ、ご報告といたします。

## TOPICS

## 川口 RC ベトナム（ホーチミン）国際奉仕活動訪問報告書

2026年2月10日～2月13日

サイゴン国際ロータリークラブとの交流を通じて現地の奉仕活動の実態および社会的課題への取り組みを理解するとともに、第2770地区による継続的な支援先である孤児院を訪問し、支援物資の寄贈および支援状況の確認を行うことを目的として実施した。また、米山奨学生関係者との交流を通じ、奨学制度による人的交流の成果を確認し、日本とベトナムの友好関係および国際理解の促進におけるロータリーの役割を再認識することも重要な目的とした。

サイゴン国際ロータリークラブの会長エレクトであるマイ氏と面談し、クラブの活動状況および奉仕活動の内容について詳細な説明を受けた。同クラブは現在会員数20名で構成され、男女比はほぼ同数であり、月2回の例会を中心に活動している。年会費は300米ドルであり、活動資金は会費および寄付金によって運営されている。

- 主な奉仕活動
- ・心臓疾患患者への手術費用支援(年間約100名)
  - ・がん患者への医療費支援(1名あたり約1,500米ドル)
  - ・図書館への書籍寄贈による教育支援
  - ・孤児院への生活支援

ベトナムでは医療保険制度は存在するものの、高度医療における自己負担額は依然として高額であり、ロータリークラブによる支援が多くの患者およびその家族にとって重要な支えとなっていて、今後の目標として会員数を35名まで増強し、奉仕活動の規模および継続性を強化する計画であることが報告された。友好関係の証としてバナー交換および記念撮影を行い、今後の継続的な交流と協力関係の維持・発展を確認した。

## ●支援物資の購入

第2770地区の補助金を活用し、現地スーパーマーケットにて支援物資の購入を行った。購入した物資は、孤児院において日常生活に必要不可欠な生活用品であり、施設における子どもたちの衛生環境および生活環境の向上に直接寄与するもので、より実効性の高い支援を行うことができた。

## ●米山奨学生関係者との交流

米山奨学生関係者との面会を行った。元奨学生は日本語教師として活動しており、日本語教育を通じて日本とベトナムの文化交流および人的交流の促進に貢献している。両国の架け橋として重要な役割を果たしていることを確認することができ、同制度の国際的意義を改めて認識する機会となった。

## ●孤児院訪問および支援物資寄贈

ホーチミン市内にある「チニ・エム・ゴー・ヴァップ孤児院」を訪問した。本施設は、家庭環境に恵まれない子どもたちを受け入れ、生活支援および教育支援を行っている福祉施設で、施設内の教室および生活環境の視察を行った。施設内では教育および生活指導が適切に行われていることを確認し、生活支援物資を寄贈した。副所長から、「継続して訪問し支援を行っている団体は限られており、皆様の支援は施設運営および子どもたちの生活環境の向上に大きく寄与している」との報告があった。さらに、当地区による支援により、子どもたちの生活環境が改善されていること、食事および日用品の質が向上していることなど、具体的な支援効果について説明を受け、継続的な支援および訪問が子どもたちにとって精神的な支えにもなっていることが示された。



本訪問を通じて、サイゴン国際ロータリークラブとの交流により、ベトナムにおける医療支援および福祉支援の現状と課題について理解を深めることができた。また、孤児院訪問により、当地区による継続的な支援が子どもたちの生活環境および福祉の向上に具体的な成果をもたらしていることを直接確認することができた。さらに、米山奨学生との交流を通じて、ロータリーの奨学制度が国際的な人的交流および友好関係の構築において重要な役割を果たしていることを再認識した。今後も、現地ロータリークラブおよび支援施設との継続的な交流と支援活動を通じて、国際奉仕活動のさらなる発展と国際理解の促進に努めていくことが重要である。

川口ロータリークラブ 会長 網谷徹己、国際奉仕委員長 木内賢治

## TOPICS

## 青少年奉仕部門 インターアクト委員会

## インターアクト日本研修派遣団 受入報告書

2026年2月7日～2月12日

2026年2月7日より6日間、RI3750地区よりインターアクト日本研修派遣団(生徒25名)が来日し、短期ホームステイ事業を実施いたしました。本事業は、日韓両国の高校生が相互理解を深め、友情と国際感覚を育むことを目的として開催されたものです。

滞在中は、埼玉栄高等学校にて対面式を実施し、両国生徒の正式な顔合わせと歓迎セレモニーを行いました。学校訪問は別日に実施し、日本の授業や学校生活を体験する機会を設けました。生徒たちは積極的に交流を図り、短期間ながらも確かな友情を築いておりました。



また、一日観光として東京ディズニーリゾートを訪問し、国境を越えた交流を楽しみました。各ホストファミリーとの時間では、日本の家庭生活を体験しながら日常的な対話を重ね、教室では得られない貴重な学びを得ることができました。

合同奉仕事業は3事業を予定しておりましたが、雨天のため記念植樹のみの実施となりました。しかしながら、この植樹は日韓友情の象徴として大変意義深いものとなりました。

インターアクト協議会では、ホスト校である越谷東高等学校ブラスバンド部による演奏や、訪日生徒によるダンス発表が行われ、会場は大いに盛り上がりました。両国生徒が互いの文化を尊重し合いながら交流する姿は、国際奉仕の理念を体現するものでした。



訪日初日には熊木ガバナー主催による歓迎晩餐会を開催し、韓国3750地区のロータリアンおよび顧問教師の皆様を盛大にお迎えいたしました。帰国前夜には小林操訪韓団団長主催フェアウェルパーティーを開催し、多くの会員とともに和やかで心温まる時間を共有いたしました。期間中はロータリアン同士の交流も活発に行われ、両地区の絆が一層深まりました。



帰国当日は、ホストファミリーとの別れの場面で涙ながらに抱き合う姿が見られ、本事業が生徒たちにとってかけがえのない経験となったことを強く実感いたしました。

なお、2026年3月25日からはインターアクト韓国研修派遣団が訪韓し、同様の交流を行う予定です。本交流が両国インターアクトクラブの生徒たちにとって人生の大きな財産となることを切に祈念し、ここに報告いたします。

青少年奉仕部門 インターアクト委員会 委員長 鳥井 義兼(さいたま櫻)



## 「会員増強雑感」

### 第1地域 ロータリー会員増強コーディネーター(RMC) 田中 久夫 (高崎 RC)

会員増強・維持には1年のうちに不安な波が2回くる。そう、1度目は12月末、2度目は6月末だ。この原稿は1月初めに書いている。皆さんの地区の12月末の様子はどうなっているのかが心配だ。この波を上手に乗り切り後半戦を迎えられれば気分も上がって、さらに増強のヤル気が起きるだろう。反対に、波に揉まれて原点(年度初めの会員数)を下回ったりすれば気分はダダ下がり、後半戦は早くも消化試合の様相に陥っていく。

少し冷静になって考えると、①会員増強は「入会者>退会者」であり、②会員維持は「入会者=退会者」、③会員減少は「入会者<退会者」である。多くの地区では、入会者数は毎年度ほぼ同数であるという傾向がある(地区の会員数の約7~10%という統計がある)。これは、地区の会員が増強に必要性を感じて、毎年度必死に新会員を徴募しているからだ。一方、退会者が出そうだというときには余り関心を寄せていない。退会者を少なく出来れば①の結果が得られる、当たり前なことだ。

退会者にその理由を聞いたRIのアンケートがある。第1位は「経済的・時間の負担」約30%、第2位は「クラブの環境と文化に馴染めなかった」約23%、第3位は「期待に沿わなかった」約19%だ。退会者の70%以上がこの3つの理由に絞られる。だとすれば、この原因解消に努めよう！というのが我々ロータリー会員の使命となる。

退会理由第1位の解消方法は、「クラブの柔軟性」の活用だ。例会の形式、回数と出席の取り扱い、会員の種類と会費の金額の区別などを考えることだ。第2位の解消方法は、クラブ運営の根幹に係わる問題だ。クラブには、すべての会員が自分のペースで自分らしく参加できているか、会員の誰かがガマンを強いられていないか、皆がいまのクラブに満足しているか、といういわゆる「クラブの良質な居心地」「クラブへの帰属意識(Belonging)」があるかどうかがかかれ目になる。これを解消するには、クラブ・リーダーの強い意思とその重要性を理解した会員たちの協力が必要だ。ここに「会員増強・維持の絶対法則」がある。

それは、「温かい配慮(会員同士の寛容な気持ち)」×「心地よさ(皆からの認知)」=「会員増強・維持+帰属意識(Belonging)」の方程式である。

これを理解できない、いやこの原因解消の努力に足を引っ張る輩が居たら、そういう人には、女性初のRI会長だったJ.ジョーンズ氏の言った「雑草に水はやらなくていい。水は花を咲かせる植物にやるべきだ。雑草は抜くことだ」を実行することだ。

第3位は、ロータリーそのものへの批判である。ロータリーを理解できない人まで取り込むことはないさ、とつぶやくしかない。

紙幅の限界がきた。残りは、拙著『そうだったのか?! ロータリークラブ!!』(幻冬舎)に譲ります。



コーディネーター NEWS 2月号は、原稿到着の関係で今号に掲載になっております。



## 第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 大谷 新一郎（相模原南 RC）

第2地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐の大谷新一郎（2780地区・相模原南 RC）です。補佐として3年目になり大変充実した財団地域コーディネーターを経験させていただき、益々ロータリー財団の重要性を認識しております。

さて、昨年11月17日にロータリー財団地域セミナーが34地区の地区財団委員長をはじめ200名を超える多数の会員の参加で開催されました。

セミナーはフランチェスコ・アレツツォRI会長のあいさつの後、TRF管理委員長ホルガー・クナーク氏よりロータリー財団の現状報告とグローバル補助金や、大規模プログラム補助金による奉仕活動をマイクを片手に壇上から、私ども参加者に語り掛けるようにとても分かりやすく熱く講演されました。財団への寄付がいかにか世界の平和・ポリオ根絶、そしてこれからの明るい未来を担う若い人々への教育に寄与しているかを講演されました。

その後第5セッションまで「会員増強につながったロータリー財団活動」のパネルディスカッション、そして伊藤RRFCによる「ロータリー財団の戦略行動計画」と題し34地区の寄付状況を数字で達成率を示し、6月までの今季目標に向かって更なる努力を参加者皆様に訴えられた。

さらにロータリー財団奨学生で2025年3月まで駒澤大学長の各務洋子氏やロータリー平和フェロー大豆本由紀氏による講演が行われた。

各務先生の「36年の時を超えて＜恩返しの喜び＞」と題しての講演は先生が30歳の時東京四谷ロータリークラブの財団奨学生として3歳の息子さんと2人で米国アリゾナ州立大学に留学され国際経営大学院修士課程での勉学でMIM（国際経営修士）を取得された経験が話されました。講演の副題として「国際ロータリー財団奨学生として得た人生の宝」を掲げられ、今の自分があるのはロータリークラブのおかげと、時々留学時の思いがよぎったのか涙を浮かべて話されていて、参加された会員の皆様も感動したのではないかと思います。

10:00～17:30のぎっしり中身の濃い充実したセミナーでした。



コーディネーター NEWS 2月号は、原稿到着の関係で今号に掲載になっております。



### 第3地域 台北国際大会推進チーム 大橋 秀典（東大阪東 RC）

2026年ロータリー国際大会に向けて、RI国際大会推進コーディネーターの出村知佳子さん(札幌北 RC)を中心に準備を進めています。

我々は日本から10,000人を目標としていますが、現在4,348名の登録を頂いています。あと、5,652名です。

日本は台湾に次いで世界第二位です。

10,000人を目指して皆様のご協力をよろしくお願いします。



#### ・主なプログラム

6月14日(日) 午前7時～ 圓山大飯店 12階にて親善朝食会。

開会式（午前・午後の2回）台北ドーム

6月15日・16日 全体会議(午前)

6月17日 閉会式(午後)

・国際大会では国際ロータリーが如何に国際的な組織であるかを再認識出来て、世界中のロータリー会員と友情を育む場所でもあります。

どうか、ご家族、クラブの仲間、地区の仲間にも声を掛けて、皆で国際大会を楽しみましょう！

#### ・日本チーム

国際大会推進コーディネーター 出村 知佳子(2510地区・札幌北 RC)

- 第一地域 岡村 睦美(2770地区・川口 RC)
- 第二地域 吉川 公章(2760地区・名古屋南 RC)
- 第三地域 大橋 秀典(2660地区・東大阪東 RC)

以上のメンバーで美味しい、楽しい、優しい、オモロイ、台北国際大会を目指しますので、皆様台北でお目にかかりましょう！

コーディネーター NEWS 2月号は、原稿到着の関係で今号に掲載になっております。



なぜ公共イメージの向上が必要なのか？

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 五十幡 和彦(行田さくら RC)

### CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)の中の「公共イメージ委員会」

ロータリーの活動の根源は、それぞれのクラブにあります。クラブの活動が充実し発展することが、ロータリー全体の発展につながります。地域リーダーの役割は、各ロータリークラブが活性化するように支援させていただくことです。

RI は、クラブの活動を充実させるために CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)を推奨しています。CLP の目的は、効果的なクラブ運営の枠組みを提供することにより、ロータリークラブの強化を図ることですが、その一つの形が「標準的なロータリークラブの委員会」の設置です。現在、クラブ管理運営、会員増強、奉仕プロジェクト、ロータリー財団については、多くのクラブで委員会が設置されていますが、いまだに設置が進んでいないのが公共イメージ委員会です。私がガバナーを務めた 2024-25 年度 RI 第 2570 地区の各クラブ年度計画書を見ても、求められている 5 つの委員会のうち、最も設置数が少なかったのが公共イメージ委員会でした。



### より大きな奉仕プロジェクトと会員増強を実現するための「公共イメージ向上」

これは、クラブ管理運営、会員増強、奉仕プロジェクト、ロータリー財団と比べ、公共イメージの重要性がまだ十分に認識されていないことの表れでもあります。では、ロータリーの活動において、なぜ公共イメージが重要なのでしょうか。奉仕プロジェクトと会員増強と並んで公共イメージの重要性を示しているのが、以下の図です。

このスパイラルでは、①クラブが取り組んでいる奉仕プロジェクトが充実すれば、クラブの公共イメージが向上します。②クラブのブランド力・公共イメージが向上すれば、クラブに入りたいと考える方が増え、会員増強につながります。



③会員が増えれば、さらに大きなインパクトをもたらす奉仕プロジェクトが可能になります。このように、公共イメージが向上すれば会員が増え、会員が増えればより大きなインパクトをもたらす奉仕プロジェクトが実現できるという好循環が生まれ、ロータリークラブは発展していきます。

皆様のクラブにおいて、奉仕プロジェクトや会員増強と並んで「公共イメージ」が重要であることをご理解いただき、ロータリーの活動がますます発展されることを心よりお祈り申しあげます。



## 第2地域 恒久基金／大口寄付アドバイザー(E/MGA) 福原 有一（東京銀座 RC）

皆さまこんにちは。第2地域の恒久基金／大口寄付アドバイザー(E/MGA)の福原有一です。第1地域の森川昭正E/MGAが9月のニュースで、2025年度グローバル・フィランソロピー・セミナーのご報告とともにご案内申し上げた通り、私ども3名のE/MGAは恒久基金や大口寄付やAKSの目標達成に向けて努力しています。25-26年のフランチェスコ・アレツォRI会長の「よいことのために手を取りあおう／Unite for Good」というメッセージを実現させる為に皆さまのご協力をお願いします。



アレツォ会長年度も3月に入りましたので、改めて中間の報告を申し上げます。まず、大口寄付、冠名基金、AKSの三分野については、大口寄付目標100件に対し63件(1月16日現在、昨年度実績は111件)、冠名基金目標各地区1件に対し4件(同16件)、AKS目標10件に対し2件(同6件)です。昨年に比べ出足がやや低調かと感じますので、ガバナー、財団委員長に奮起を促したいと存じます。

次にイベント報告です。昨年11月18日に第54回ロータリー研究会の付随プログラムとして、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにてメジャー・ドナー・ランチ会／アーチ・クランフ・ソサエティ(AKS)認証式典が開催されました。

式典にはRI本部からフランチェスコ・アレツォRI会長及びホルガー・クナークTRF管理委員長が駆けつけて下さり、メジャー・ドナー・レベル4代表者の顕彰に続き、AKSに入会された前田直俊さん、藤井秀香さん、五十幡和彦さん、そして管理委員長サークルにレベルアップされた飯村慎一さん聡子さんご夫妻、金杉誠さん美鈴さんご夫妻に認証状と花束の贈呈が行われました。

アレツォ会長とクナークTRF管理委員長の登場と共に厳粛な式典が進み、食事会では一緒にスナップ写真を撮るなど大変和やかな会となりました。企画から実現に至るまでご協力頂いた地域役員の皆さま、財団室スタッフの方々には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

引続き大口寄付、恒久基金、AKSの目標の達成に向けご協力を宜しくお願い申し上げます。

どうもありがとうございました。



### 第3 地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 晝田 眞三（福山 RC）

第3 地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐の晝田眞三(第 2710 地区・福山 RC)です。

会員の皆様に寄付をお願いし、その目標を達成することが役割ですので皆様のご理解ご協力をお願いします。

さてロータリーの重点分野に「平和構築と紛争予防」があります。日本でも国際基督教大学で平和フェローの人たちがこのテーマを勉強しています。その一環として、彼らは我が 2710 地区(広島・山口)広島市で原爆の脅威と市民の平和運動を学び、地区財団委員会メンバーとの交流会を行います。小生も数回参加したことがあります、8 年程前のフェローの一人の話をします。

彼はアフガニスタン生まれで、(お母さんは教育を受けていないので、文字が書けなかったとのこと。) オーストラリアに亡命し、国連軍に参加しドローンの研究をしているとのことでした。オーストラリア人でもコーケイジアン(白人)ではありません。

当時、戦争にドローンが使われていなかったのでおもちゃのようなドローンをイメージしておりましたら、そんなものではなく無人機の大きさの話でした。それから数年後、ロシアのウクライナ侵攻により、ドローン攻撃が日常的に行われ、ウクライナはドローン大国になりました。

紛争はロシア・ウクライナだけでなくイスラエル・パレスチナでも起こり、ベネズエラ・イランなど政情不安な国が増えています。デモによる死者も含め、世界が良い方向に向かっているとは思えない状況です。

ロータリーの活動は市民運動ではありますが、お互いの人権を認め合うところから始まっています。お互いの人権を認め合うためには、まずはお互いを知ること、発言の背景を理解すること、違いを認めることなど他者から学ぶ姿勢が必要です。拒絶しては始まりません。我々は永年、財団奨学生、地区奨学生、加えてロータリー財団とは異なりますが青少年交換留学生、米山記念奨学生と世界に羽ばたく人たちを応援してきましたが、今こそ彼らの出番であり、彼らへの期待は高まります。

そして彼らへの支援として寄付をお願いすることは避けて通れません。皆様の浄財により、「平和構築と紛争予防」が実現すれば、その価値はたいへん尊いものになるでしょう。





## 1 台北国際大会で分科会開催が正式決定

6月13日から17日まで台湾の台北南港展覽館 (TaiNEX) で開催される台北国際ロータリー年次大会 (台北国際大会) において、当財団の分科会開催が正式に決定しました。

タイトルは「広がる基盤・つながる世界 ～ロータリーとともに歩む米山学友の実践～」。

米山学友4人が登壇し、学友会活動や国際的なネットワークの広がりを紹介しながら、米山学友がロータリーのパートナーとして「奉仕の理想」を実践している姿を発信します。分科会は6月15日 (月) 午前9時30分から開催予定です。参加予約は不要で、入室順のご着席となります。

また、会期中は友愛の家でのブース出展も計

画しており、現在申請中です。ブースでは台湾の米山学友や、よねやま親善大使らが世界のロータリー会員へ米山奨学事業の魅力をもPRする予定です。また、ブースでは限定グッズの配布や体験イベントを企画しています。多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

併せて、6月12日 (金) には台湾米山学友会主催の歓迎懇親会が開催されます。登録開始は3月以降で、詳細は順次案内される予定です。ご都合が合う方は、ぜひこちらの懇親会にもご参加ください。

### 国際大会 分科会

6/15  
Mon

2026年6月15日 (月) 09:30～10:30

分科会タイトル：広がる基盤・つながる世界  
～ロータリーとともに歩むロータリー学友の実践～

#### 登壇者 (米山学友)



林岳毅さん (台湾)  
2000-01/札幌清田RC



朴貞子さん (中国)  
2006-08/岸和田RC



バヤンバット,  
トゥメンデルゲルさん  
(モンゴル)  
2014-15/大阪東RC



フィンティミーハンさん  
(ベトナム)  
2001-02/金沢みなとRC

学友4名が学友会活動やネットワークを紹介し、ロータリー学友が「奉仕の理想」を共に実現するロータリーのパートナーとなっているヒントを共有します。

## 2 寄付金速報 — 2026年は緩やかにスタート —

前年同期比

-3.7%

普 +0.9% 特 -6.0%

1月末までの寄付金は、前年同期と比べて3.7%減 (普通寄付金: 0.9%増、特別寄付金: 6.0%減) となり、約3,600万円の減少となりました。前年同期比

では減少しているものの、単月の寄付額は普通寄付金・特別寄付金ともに微増しており、回復の兆しが見られます。例年1月は、普通寄付金 (クラブで決定した金額×会員数分をお送りいただく定期寄付) の下期分の納入が中心となります。2月も引き続き、皆さまのご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

### 3 東京米山友愛RCとベトナム南米山学友会が協働

米山学友を中心に設立された第 2750 地区東京米山友愛ロータリークラブが昨年 12 月、ベトナムのホーチミン市にてベトナム南米山学友会と協力し、地区補助金を活用した国際奉仕活動を実施しました。



現地では、孤児院 2 施設と視覚障害児支援施設の計 3 施設を訪問し、子どもたちの学習用品やリュック、視覚障害者用そろばん、杖などの支援物資を届けました。また、子どもたちによる歌やダンスが披露され、言葉や文化の違いを越えて心が通い合うひとときを共有しました。

さらに、日本語を学ぶベトナムの大学生 6 人に「Yoneyama Vietnam 奨学金」を贈呈するなど、次世代育成にも取り組みました。

同クラブ会長の朴貞子さん（2006-08/岸和田 RC）は、「この活動を通じて、米山の輪が確実に世界へと広がっていることを実感しました。米山学友と現役ロータリー会員が世代や国境を越えて協働する意義の大きさを再認識するとともに、参加者一人ひとりの心もより豊かになったと感じています」と語りました。

### 4 当財団への寄付により 2 人が紺綬褒章を受章

第 2590 地区横浜金沢東 RC の遠藤尚男氏と、第 2780 地区藤沢北西 RC の井上直紀氏が、昨年 9 月 27 日付で紺綬褒章を受章されました。

遠藤氏は 2 月 4 日、井上氏は 2 月 5 日に、それぞれ所属クラブの例会にて褒章伝達式が行われ、出席した当財団の相澤光春副理事長から褒

章と章記が贈られました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人または団体に対して天皇陛下より授与される褒章で、当財団は 2018 年 9 月に紺綬褒章の公益団体認定を受けています。受章された皆さまに、心よりお祝い申し上げます。

### 5 各国の料理を囲んで新年会 第 2550 地区学友会

2 月 1 日、第 2550 地区米山学友会が宇都宮市内にて、2026 年度新年会を開催し、米山学友とその家族 6 人、米山奨学生 15 人、ロータリー会員 5 人の計 26 人が参加しました。新年を祝うとともに、国際色豊かな交流のひとときを楽しみました。



米山学友を中心に、食材の購入から下準備まで参加者全員で協力。鶏肉団子のスープに春雨

や中華麺を加えたインドネシアの伝統料理「バクソ」をメインに、ベトナムの揚げ春巻きや中華チャーハンが並び、各国の料理を囲んで会話が弾みました。参加者はそれぞれ近況を報告し合い、世代や国籍を越えた和やかな歓談の時間となりました。2025 年の労をねぎらいながら、新たな一年の飛躍を願う、温かな新年会となりました。

#### スリランカ米山学友会 10 周年記念総会開催のご案内

- ◇2026 年 5 月 31 日（日）16:00～20:00
- ◇会場：AMARI HOTEL（コロンボ）
- ◇前日にコロンボシティツアー、前夜祭開催

詳細はこちら



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会  
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F  
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281

E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL：https://www.rotary-yoneyama.or.jp/  
編集担当：長尾(ながお)

## 2025-2026 年度 1 月 会員数報告

クラブ名	2025年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
浦和	101	4	105	3	4	5	7
浦和東	99	15	100	16	1	3	4
浦和南	24	2	26	3	2	3	2
浦和中	33	5	32	4	-1	3	0
浦和ダイヤモンド	21	3	22	4	1	4	1
第1グループ計	278	29	285	30	7	18	14
浦和北	57	4	57	4	0	10	1
さいたま中央	41	2	41	2	0	10	1
さいたまシティ	21	1	23	3	2	5	2
浦和北東	42	3	42	3	0	5	0
さいたま新都心	33	0	33	0	0	5	0
第2グループ計	194	10	196	12	2	35	4
大宮	55	2	53	2	-2	5	3
大宮南	35	8	35	7	0	2	2
大宮中央	34	4	36	5	2	18	2
大宮シティ	39	4	40	4	1	8	2
さいたま樺	30	4	30	4	0	3	0
さいたま大空	13	5	15	7	2	2	2
第3グループ計	206	27	209	29	3	38	11
大宮西	113	17	117	18	4	8	5
岩槻	25	3	25	3	0	5	1
大宮東	37	2	38	2	1	5	1
岩槻東	21	3	21	3	0	3	0
大宮北東	8	1	9	1	1	4	1
第4グループ計	204	26	210	27	6	25	8
上尾	33	0	33	0	0	3	0
鴻巣	21	4	18	4	-3	2	0
桶川	20	0	20	0	0	2	1
上尾西	31	3	31	3	0	3	2
北本	5	1	6	1	1	3	1
上尾北	20	0	24	0	4	3	4
鴻巣水曜	25	0	28	0	3	5	3
桶川イブニング	24	3	26	4	2	3	2
鴻巣イブニング	21	2	26	4	5	5	5
第5グループ計	200	13	212	16	12	29	18
春日部	26	2	26	2	0	2	1
杉戸	33	3	32	4	-1	3	1
春日部西	26	1	26	1	0	3	1
春日部南	27	0	26	0	-1	3	1
春日部イブニング	41	2	42	2	1	4	1
第6グループ計	153	8	152	9	-1	15	5

## ローターアクトクラブ

クラブ名	7/1会員数	当月末	増減	クラブ名	7/1会員数	当月末	増減
大宮	2025年7月より休会			大宮南	11	11	0
浦和北	12	15	3	蓮田	5	5	0
獨協大学	4	4	0	川口/鳩ヶ谷武南	11	18	7
大宮東	3	2	-1	戸田中央看護専門学校	123	123	0
文教大学	5	10	5	川口モーニング	7	7	0
共栄大学	54	54	0	大宮西	6	16	10
川口	13	11	-2	ローターアクト計	254	276	22

クラブ名	2025年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
幸手	22	1	16	1	-6	3	0
蓮田	43	3	43	3	0	3	0
久喜	50	7	51	7	1	3	2
幸手中央	13	1	13	1	0	1	0
第7グループ計	128	12	123	12	-5	10	2
越谷	92	6	98	8	6	5	7
越谷南	37	4	43	6	6	6	7
越谷北	48	2	51	2	3	3	4
越谷東	74	5	77	4	3	5	5
第8グループ計	251	17	269	20	18	19	23
八潮	23	2	22	2	-1	2	0
八潮イブニング	10	0	10	0	0	3	0
八潮みらい	17	1	18	1	1	2	0
草加松原	35	3	37	3	2	9	1
草加シティ	17	6	12	4	-5	5	2
第9グループ計	102	12	99	10	-3	21	3
三郷	30	4	30	5	0	2	0
三郷中央	19	2	17	2	-2	3	2
松伏	18	2	19	2	1	2	2
吉川中央	14	3	17	3	3	3	0
第10グループ計	81	11	83	12	2	10	4
川口	88	18	86	17	-2	5	1
鳩ヶ谷	14	0	14	0	0	10	3
川口東	23	3	22	2	-1	6	2
川口/鳩ヶ谷武南	22	3	25	3	3	2	0
川口モーニング	30	2	30	3	0	5	0
川口南	15	4	16	4	1	2	3
川口シティ鳩ヶ谷	6	2	6	2	0	2	2
第11グループ計	198	32	199	31	1	32	11
戸田	50	7	56	8	6	10	1
蕨	15	2	17	3	2	2	0
川口西	11	0	11	0	0	2	8
戸田西	18	1	21	1	3	2	2
川口北	28	1	30	3	2	5	0
川口中央	11	1	11	1	0	1	5
川口むさし野	19	4	19	4	0	2	3
第12グループ計	152	16	165	20	13	24	19
地区合計	2147	213	2202	228	55	276	122
参考:2025年当月地区合計	2200	204	2254	213	54	184	130

ロータリークラブ数	66RC
2025年当月末会員数	2202人
ローターアクトクラブ数	13RAC
2025年当月末会員数	276人
RC+RAC会員数	2478人